

研究課題名	死戦期におけるエンドルフィン放出の意義と神経細胞への影響との関連性における検討
研究の意義・目的	近年、死線期においてエンドルフィンが放出されることが明らかになっており、その作用について注目されています。一方、エンドルフィンと脳由来神経栄養因子 (BDNF) との関係が報告されており、BDNF の神経細胞への影響も検討されています。本研究では、剖検例における体液中のエンドルフィンと BDNF の測定を行い、死戦期におけるそれら物質の関係およびその病態生理学的意義について検討することにあります。 本研究は大阪公立大学大学院医学研究科法医学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2028年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	1. 2010年1月から2026年3月に大阪公立大学大学院医学研究科法医学で司法解剖された症例。 2. 血液・脳脊髄液・尿・心膜液などの各種体液試料、および脳、下垂体、脈絡叢、心臓、肝臓、腎臓、副腎などの組織試料が採取できた症例が対象となります。また、以下に該当する症例は除外します。 (ア) 高度腐敗症例など、試料の採取が不可能な症例 (イ) 複数の死因となる要素が重複するような症例
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく資料・情報などの項目をえ	鑑定過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：[血液、脳脊髄液、尿、心膜液、硝子体液、左右胸腔内液、腹腔内液、胆汁、骨髄穿刺液、胃内容物などの体液試料、および脳、下垂体、脈絡叢、心臓、肝臓、腎臓、副腎などの各種組織試料] 診療情報等：[患者基本情報：年齢、性別、死亡までの過程に関する情報、死因に関する情報、死後経過時間、発病後経過時間など、および生化学的・中毒学的・病理学的検査結果など]
試料・情報の他機関への提供	株式会社エスアールエルへ、各種生化学検査測定のために試料・情報を提供する可能性があります。その際は、個人を特定できないような形で提供を行います。
この研究を行っている共同研究機関	大阪公立大学大学院医学研究科法医学 研究責任者：石川隆紀
資料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 研究責任者 石川隆紀
本研究の利益相反	利益相反状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
研究に協力をしたくない場合	本研究に使用された御遺体の御遺族の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究の協力を断っても、不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 石川 隆紀 電話番号：(06) -6645-3767 メールアドレス：gr-med-legalmed@omu.ac.jp